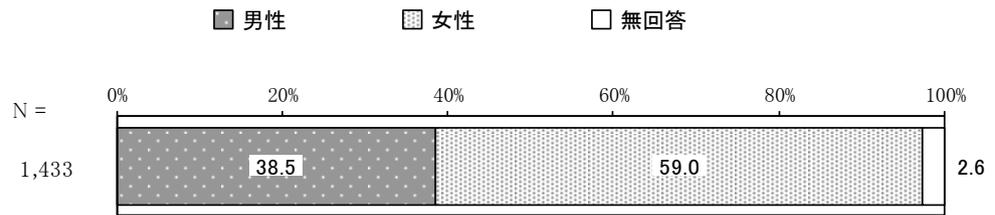


平成 30 年度
神奈川区区民意識調査
調査結果報告書
(概要版)

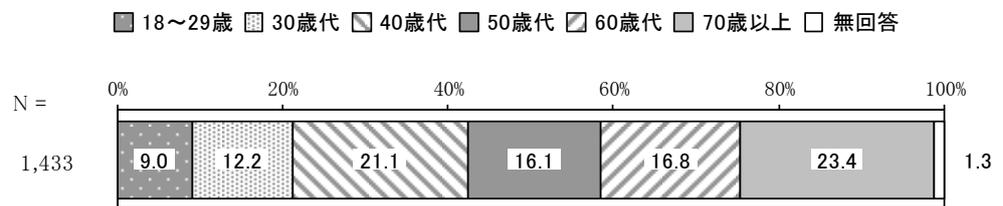
調査の概要	
調査方法	(1) 調査地域 横浜市神奈川区全域 (2) 調査対象 区内在住 18 歳以上の男女 (3) 標本数 3,000 人 (うち外国籍 50 人) (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出 (5) 調査方法 郵送またはインターネットによる無記名調査 (郵送配布・郵送またはインターネットによる回収・回答依頼 1 回) (6) 調査期間 平成 30 年 9 月 3 日 (月) ~ 9 月 28 日 (金)
調査内容	(1) 定住意向 (6) 子育て支援 (2) 現在の住まいの環境 (7) 健康づくり (3) 神奈川区の行政サービス (8) 地域との関わり (4) 防災 (9) 神奈川区の魅力 (5) 介護予防・高齢者支援
回収結果	(1) 標本数 3,000 人 (うち外国籍 50 人) (2) 有効回収数 1,433 人 (3) 有効回収率 47.8%

回答者属性

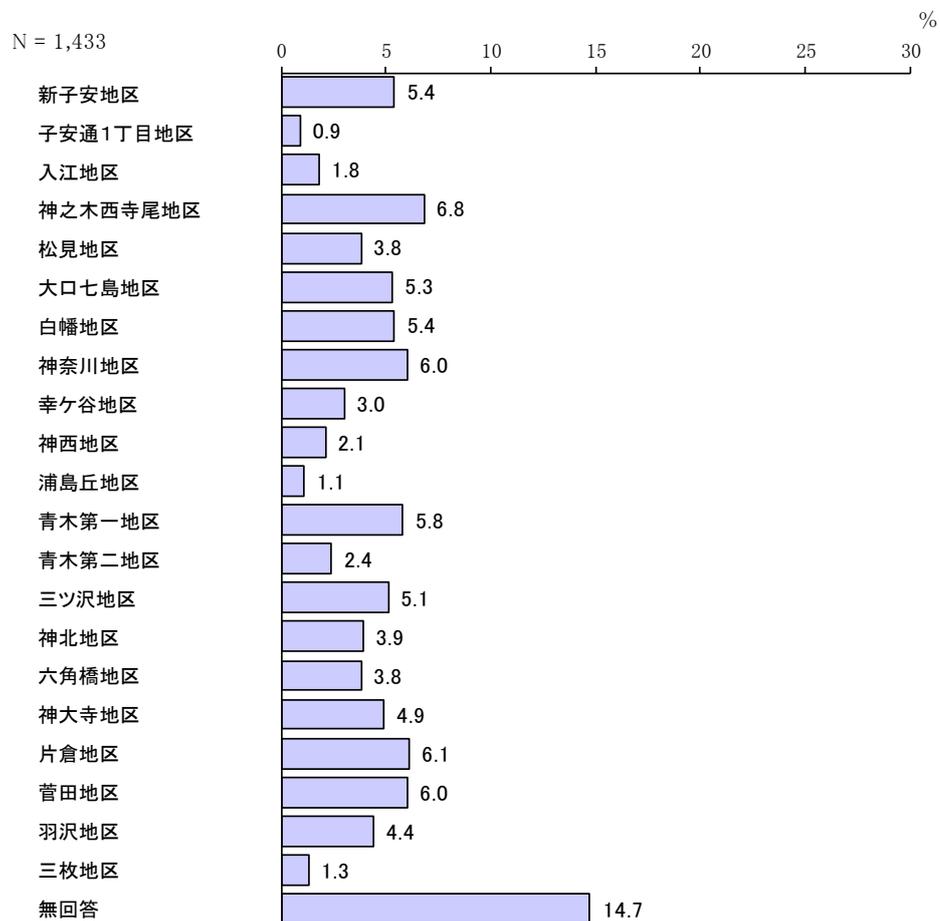
(1) 性別



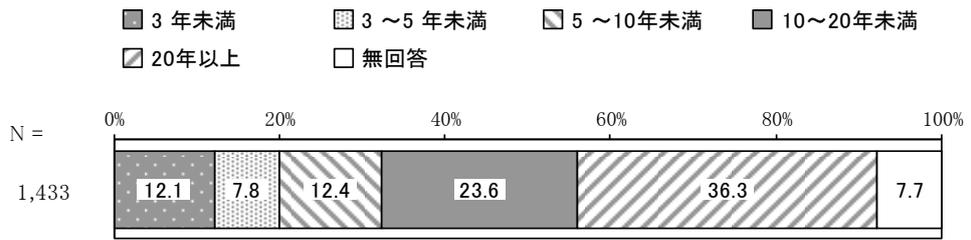
(2) 年齢



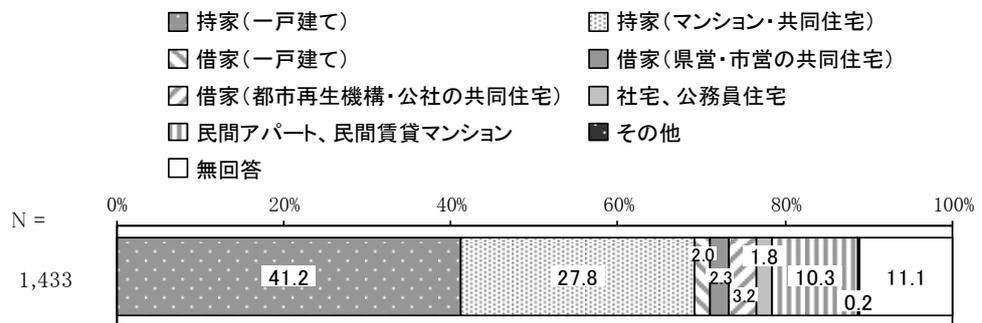
(3) 居住地区



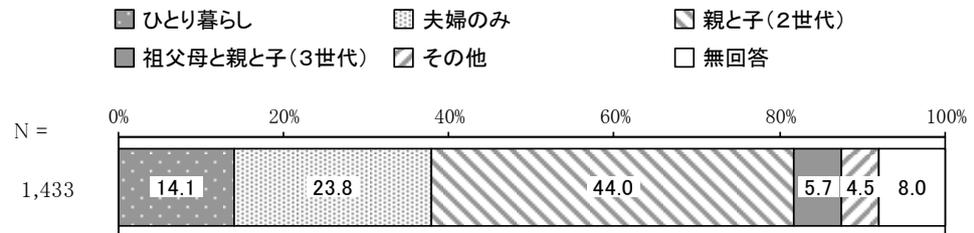
(4) 居住年数



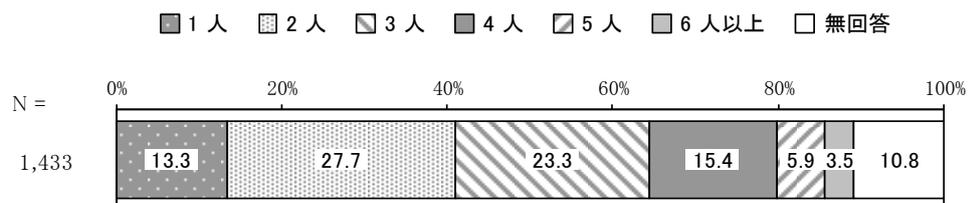
(5) 居住形態



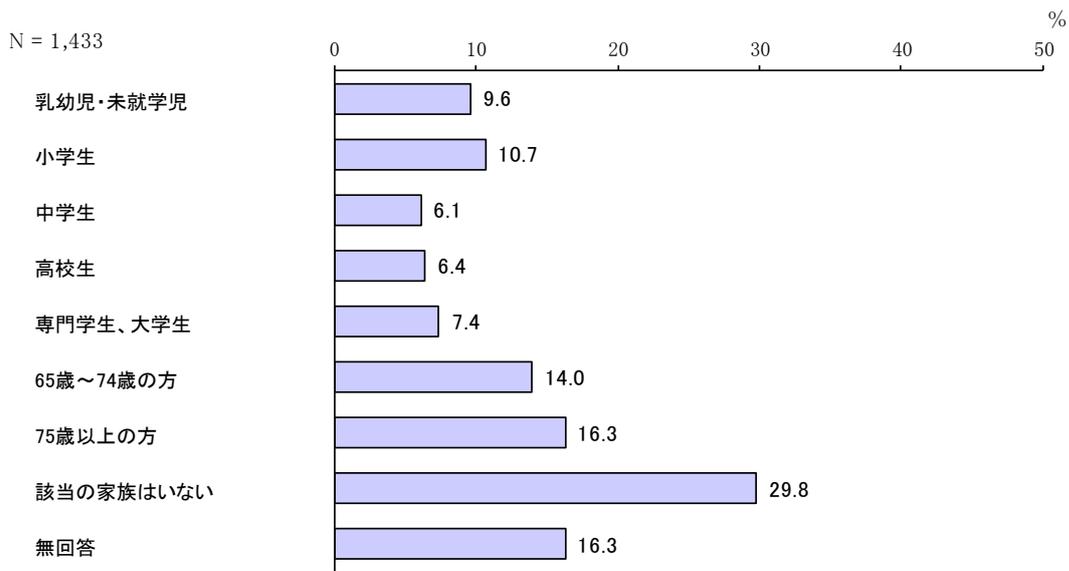
(6) 家族構成



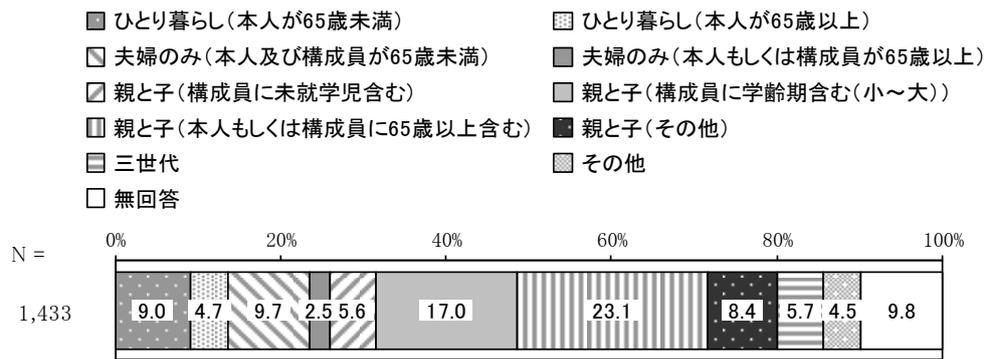
(7) 同居家族の人数 (回答者本人を含む)



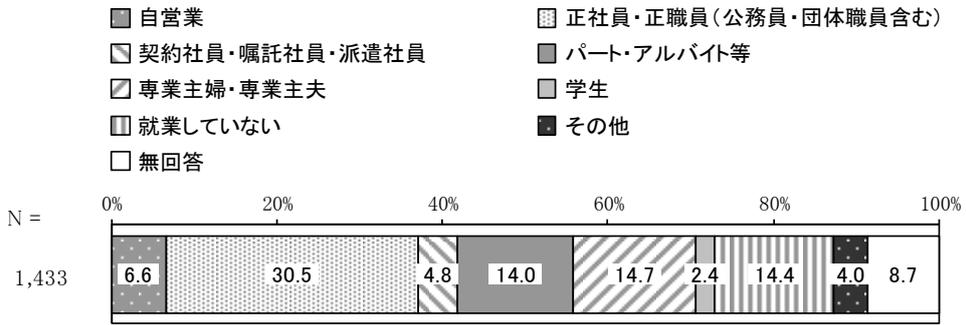
(8) 同居家族 (複数回答)



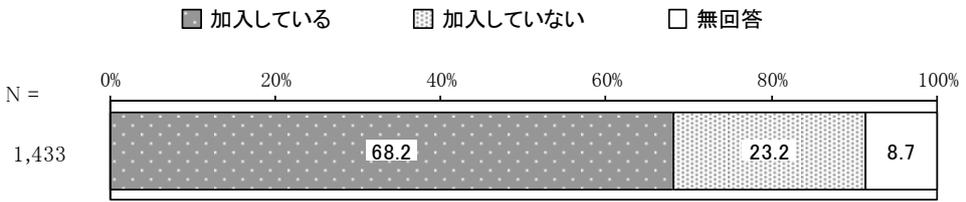
(9) 世帯類型



(10) 就労状況



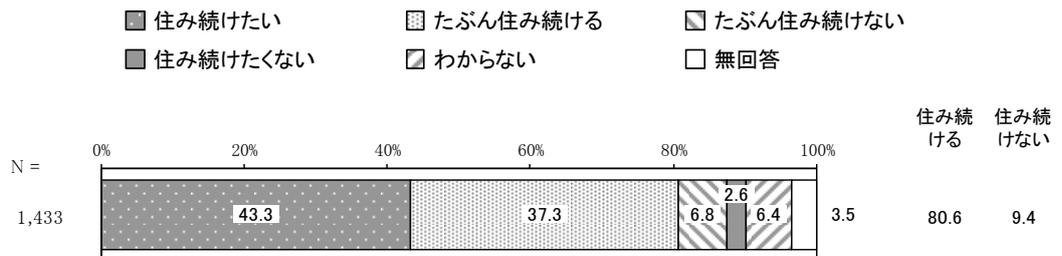
(11) 自治会町内会への加入状況



定住意向について

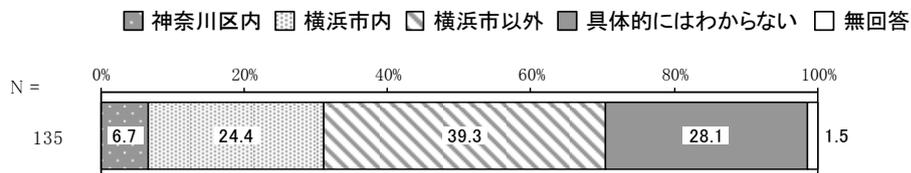
問1 あなたは、現在お住まいの地域（あるいは周辺の地域）に住み続けたいですか。
（○は1つ）

「住み続けたい(43.3%)」と「たぶん住み続ける(37.3%)」を合わせた“住み続ける”が80.6%、
「たぶん住み続けない(6.8%)」と「住み続けたくない(2.6%)」を合わせた“住み続けない”
が9.4%となっています。



問1-1 問1で「3. たぶん住み続けない」「4. 住み続けたくない」と答えた方にお
たずねします。転居先としては、どの地域を希望されますか。（○は1つ）

「横浜市以外」が39.3%と最も多く、次いで「横浜市内」が24.4%となっています。一方、
「具体的にはわからない」が28.1%となっています。



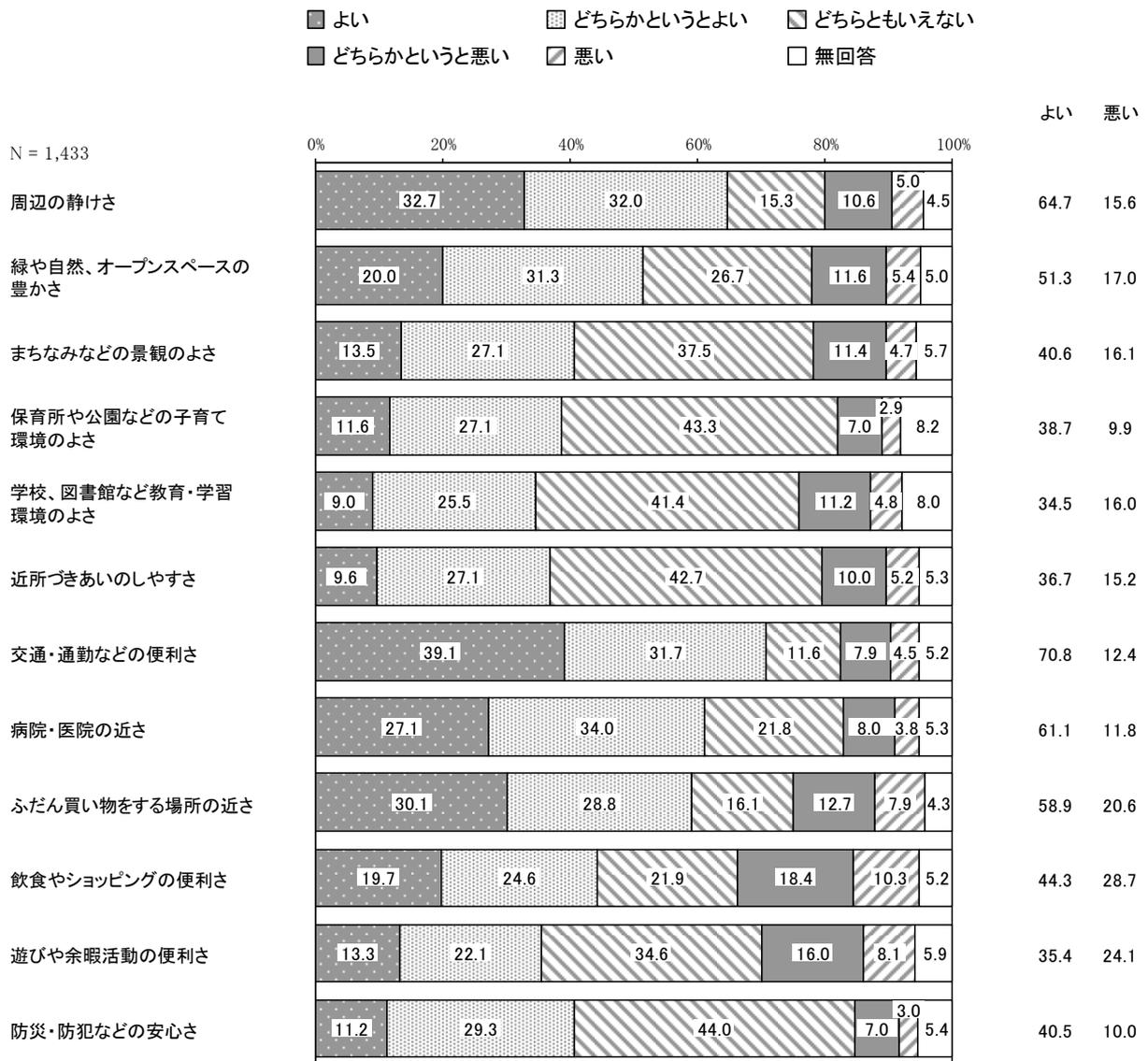
現在の住まいの環境について

問2 あなたは、現在のお住まいの環境に関する次の項目について、どのように感じていますか。

(ア) 現在の状況と (イ) 以前と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。((ア)、(イ) ○はそれぞれ1つずつ)

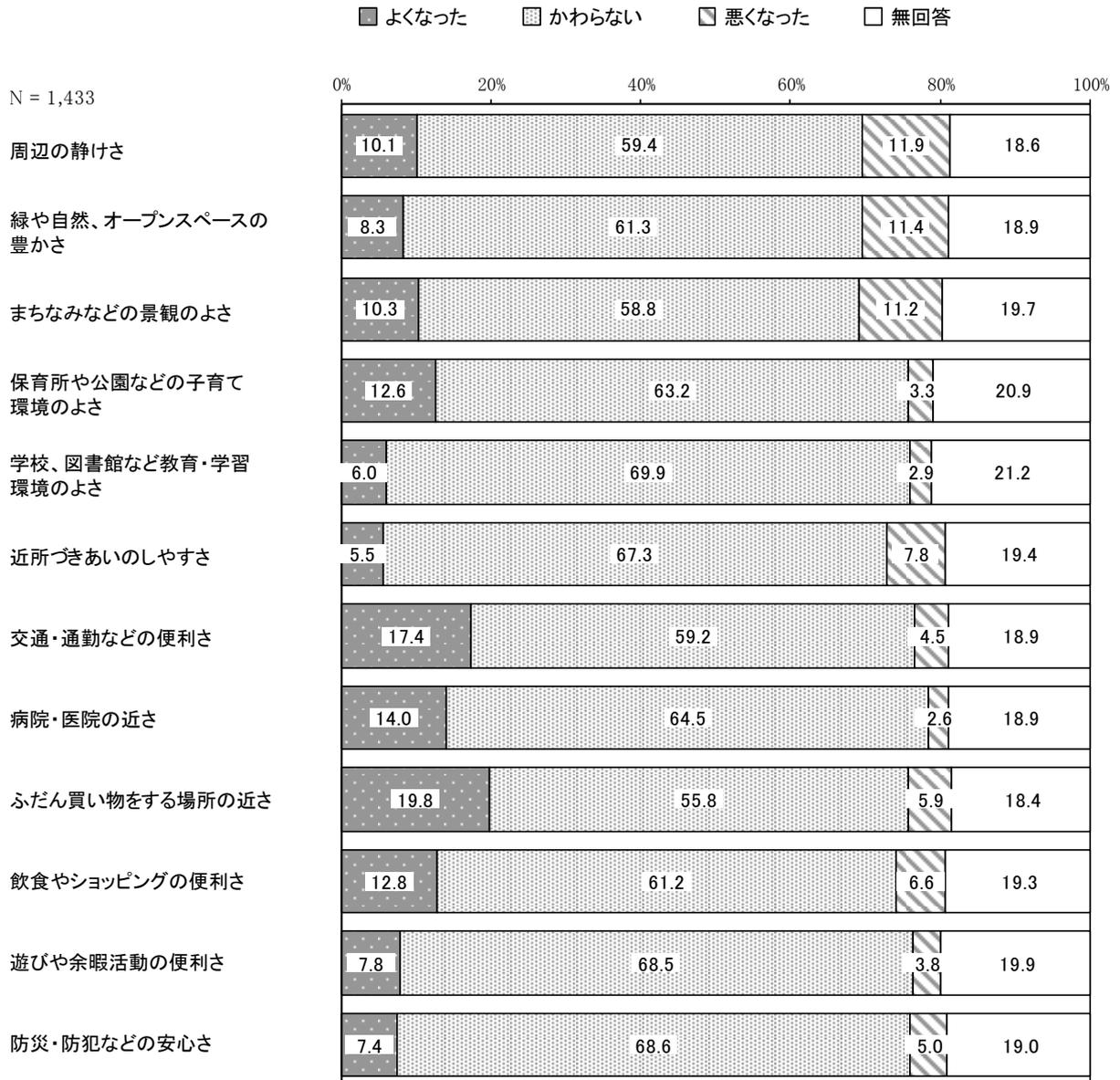
(ア) 現在の状況

「交通・通勤などの便利さ」で「よい (39.1%)」と「どちらかというといよい (31.7%)」を合わせた“よい”が70.8%と最も多くなっています。一方、「飲食やショッピングの便利さ」で「どちらかというとい悪い (18.4%)」と「悪い (10.3%)」を合わせた“悪い”が28.7%と最も多くなっています。



(イ) 以前と比べた変化

「交通・通勤などの便利さ (17.4%)」、「ふだん買い物をする場所の近さ(19.8%)」で「よくなった」が約2割となっています。一方、「周辺の静けさ (11.9%)」、「緑や自然、オープンスペースの豊かさ (11.4%)」、「まちなみなどの景観のよさ (11.2%)」で「悪くなった」が約1割となっています。

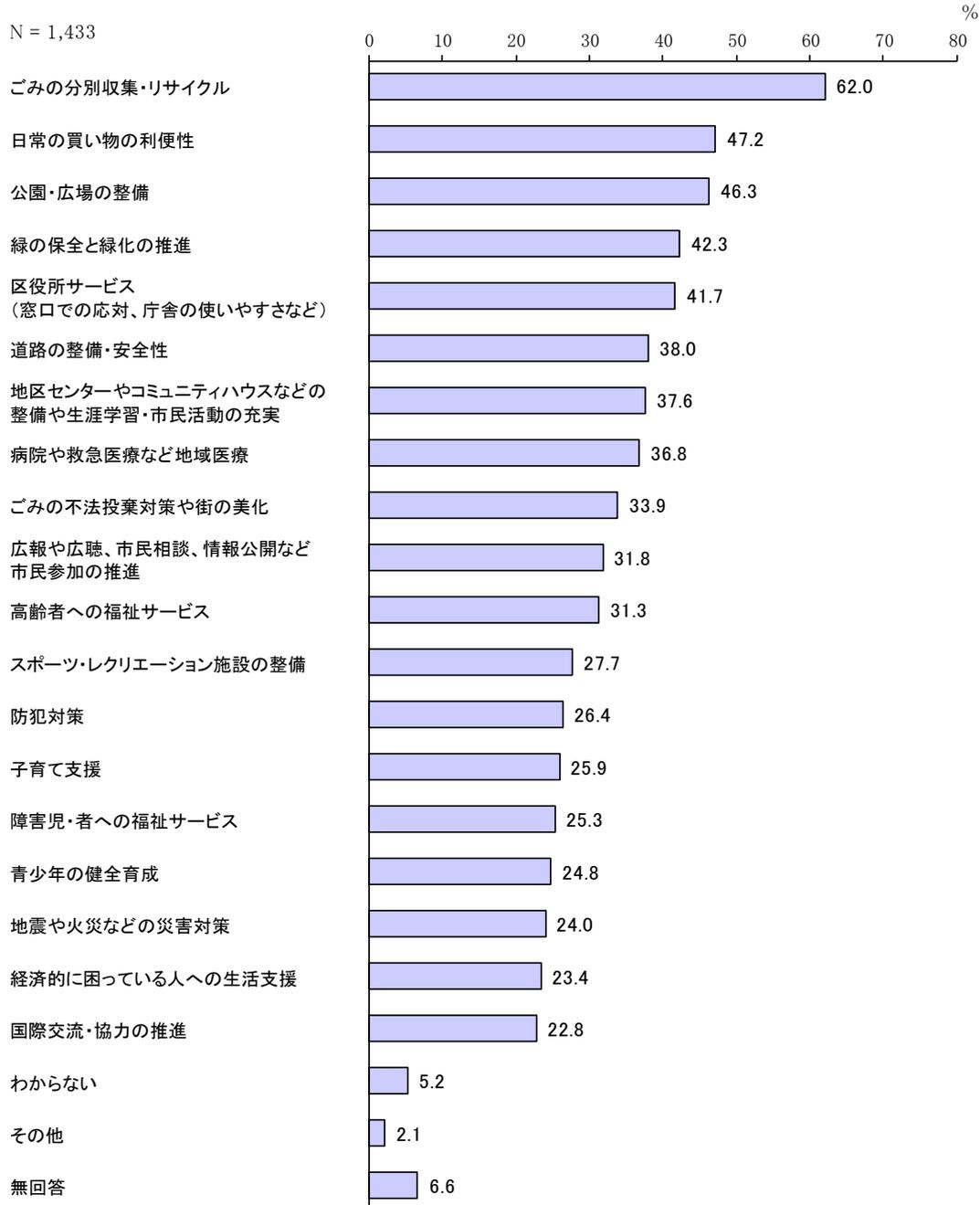


神奈川区の行政サービスについて

問3 神奈川区の行政サービスの中で、あなたが、(ア) 満足しているサービス、
 (イ) 今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。
 ((ア)、(イ) それぞれあてはまるものすべてに○)

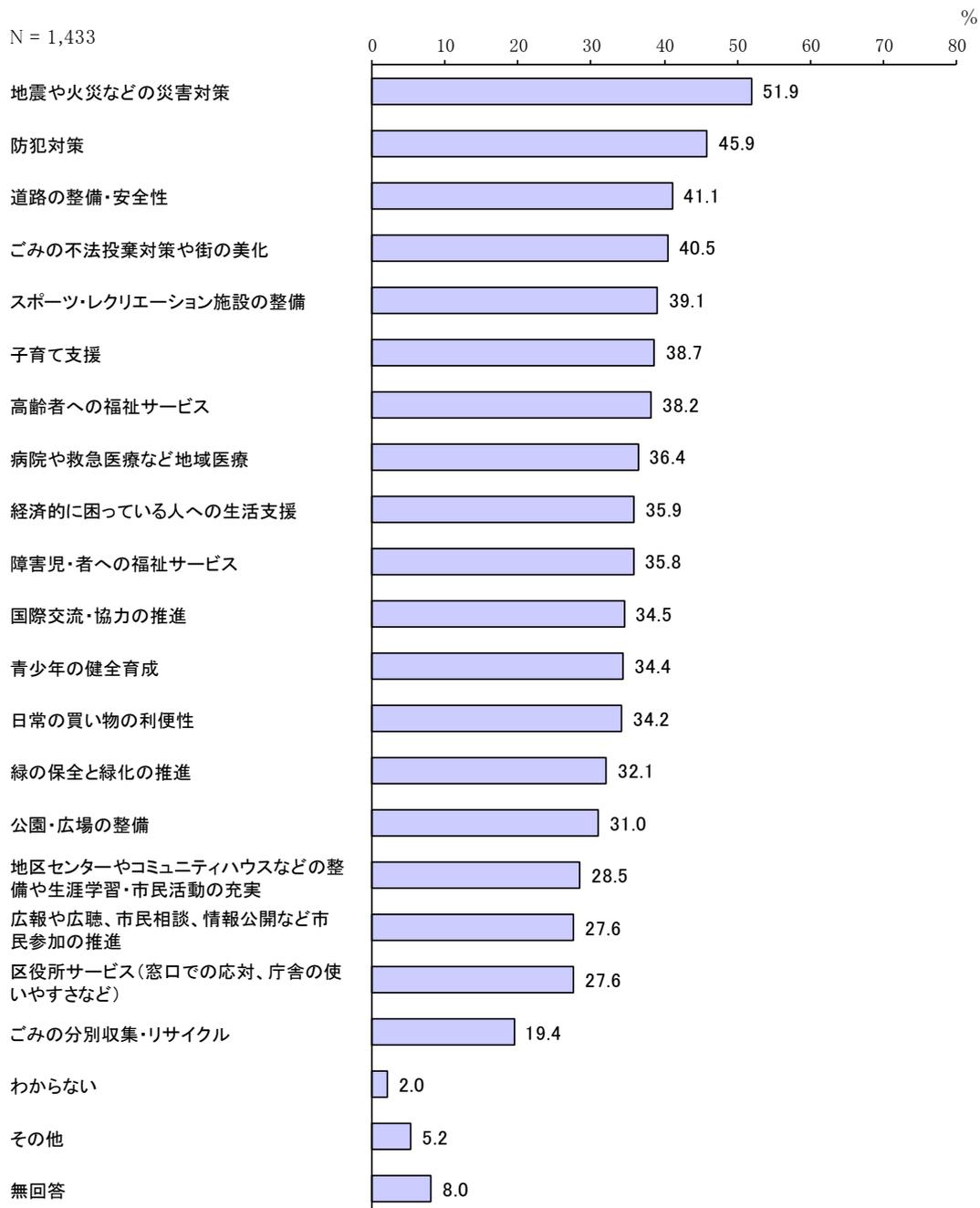
(ア) 満足しているサービス

「ごみの分別収集・リサイクル」が62.0%と最も多く、次いで「日常の買い物の利便性」が47.2%、「公園・広場の整備」が46.3%となっています。



(イ) 今後、充実すべきだと思うサービス

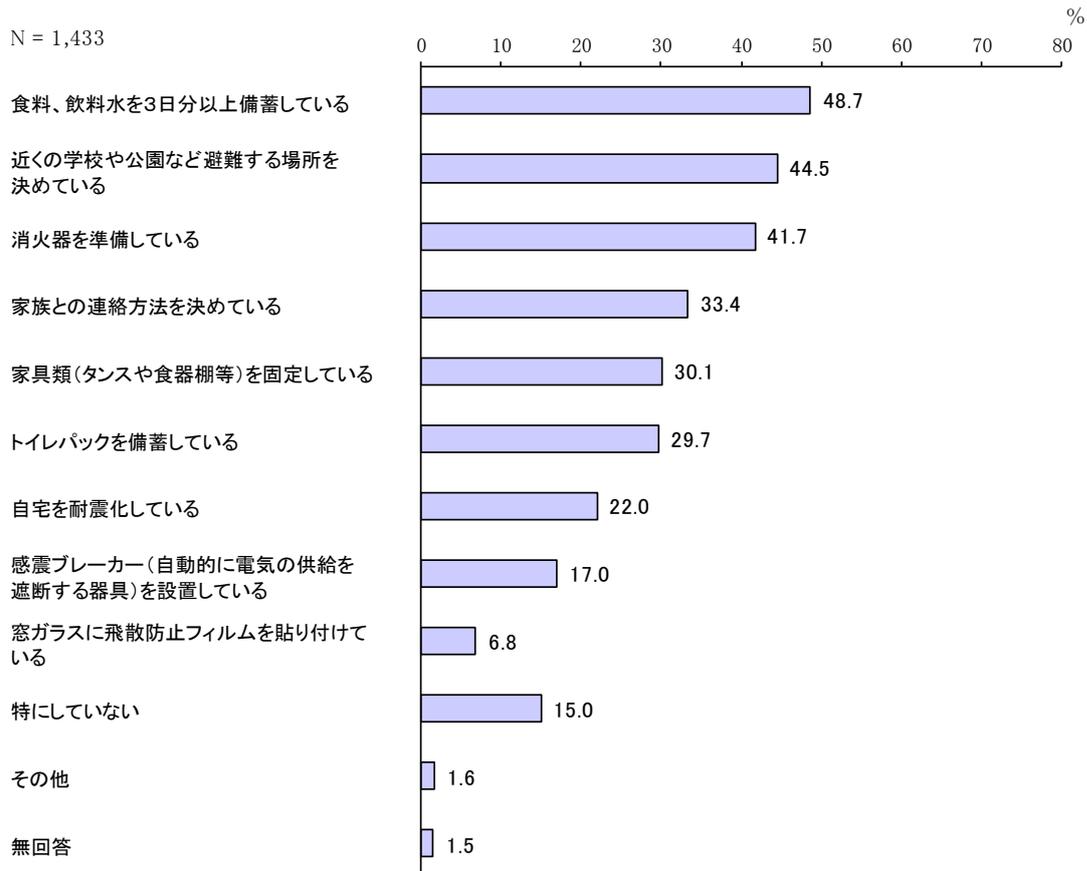
「地震や火災などの災害対策」が51.9%と最も多く、次いで「防犯対策」が45.9%、「道路の整備・安全性」が41.1%となっています。



防災について

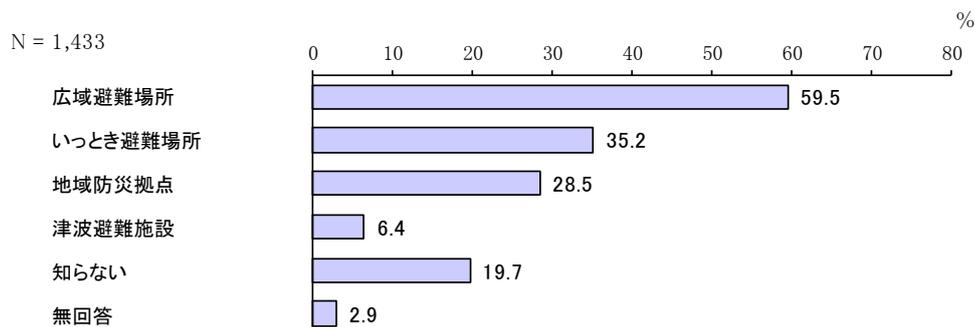
問4 あなたのご家庭での日ごろの防災対策（自助）についておたずねします。あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、現在どのような対策をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「食料、飲料水を3日以上備蓄している」が48.7%と最も多く、次いで「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が44.5%、「消火器を準備している」が41.7%となっています。一方、「特にしていない」が15.0%となっています。



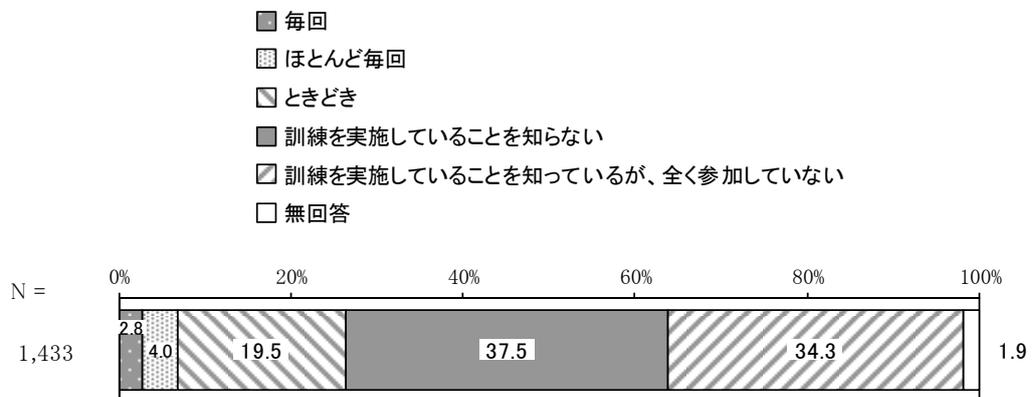
問5 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「広域避難場所」が59.5%と最も多く、次いで「いっとき避難場所」が35.2%、「地域防災拠点」が28.5%となっています。一方、「知らない」が19.7%となっています。



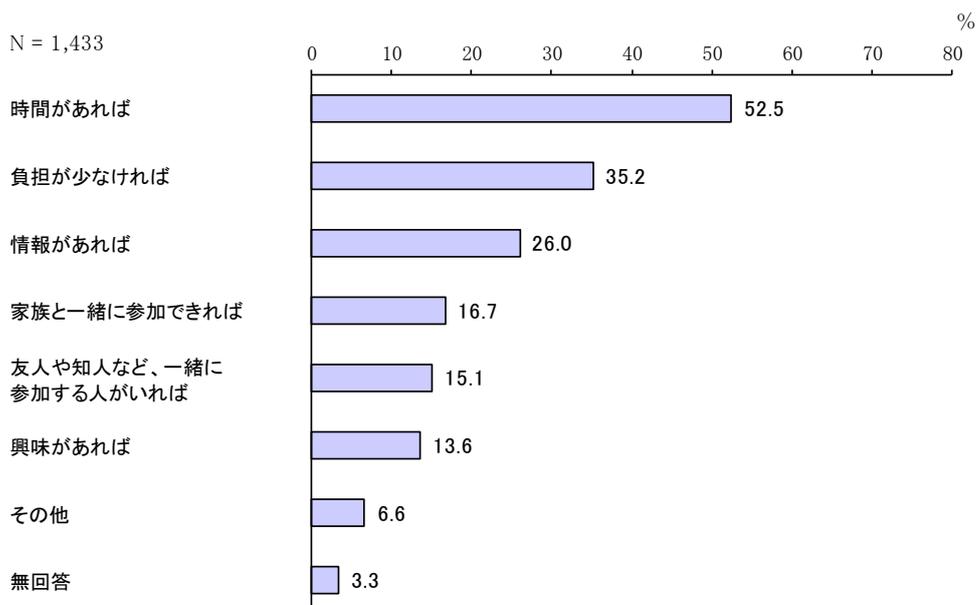
問6 あなたは、地域防災拠点や自治会・町内会関係の訓練にどのくらい参加していますか。(○は1つ)

「訓練を実施していることを知らない」が37.5%と最も多く、次いで「訓練を実施していることを知っているが、全く参加していない」が34.3%となっています。一方、「毎回」が2.8%、「ほとんど毎回」が4.0%となっています。



問7 あなたは、どのような状況であれば地域防災拠点や自治会・町内会関係の訓練に参加しますか。(あてはまるものすべてに○)

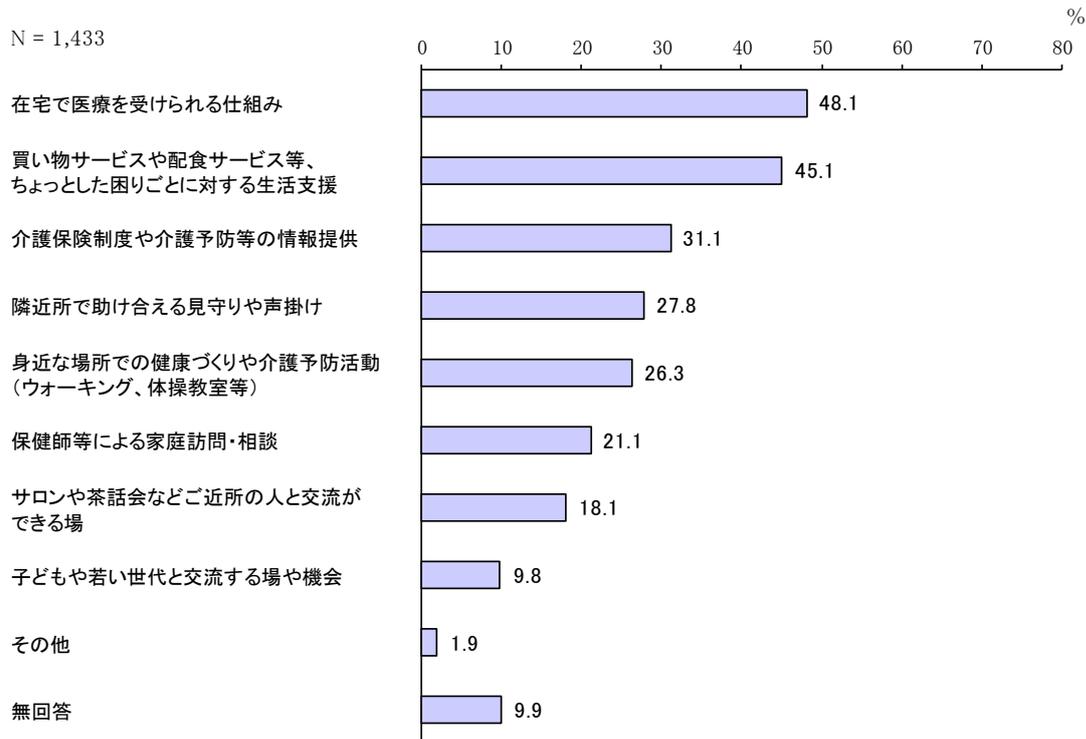
「時間があれば」が52.5%と最も多く、次いで「負担が少なければ」が35.2%、「情報があれば」が26.0%となっています。



介護予防・高齢者支援について

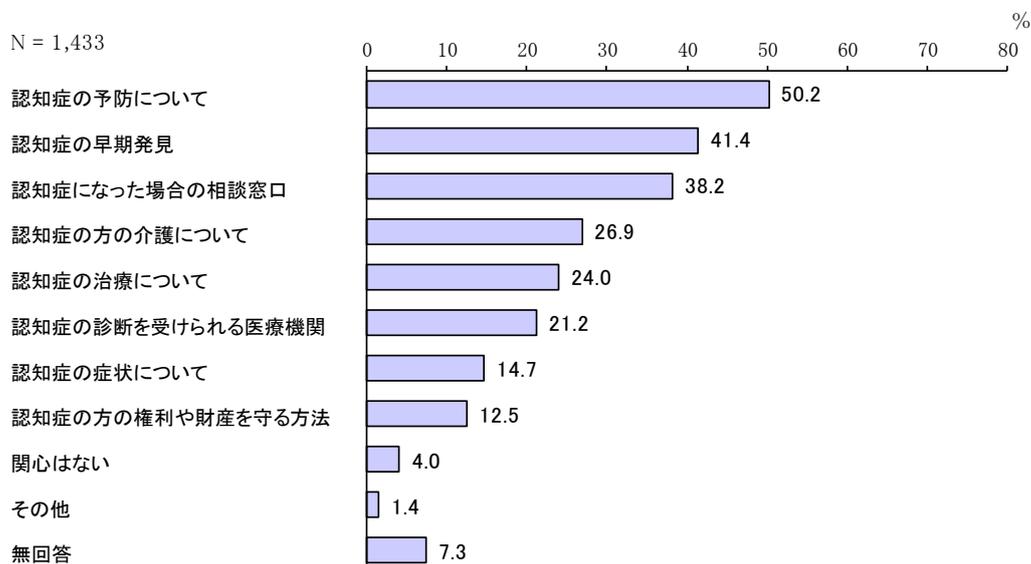
問8 あなたは、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らし続けるために必要な支援やサービスは何だと思えますか。(〇は3つまで)

「在宅で医療を受けられる仕組み」が48.1%と最も多く、次いで「買い物サービスや配食サービス等、ちょっとした困りごとに対する生活支援」が45.1%、「介護保険制度や介護予防等の情報提供」が31.1%となっています。



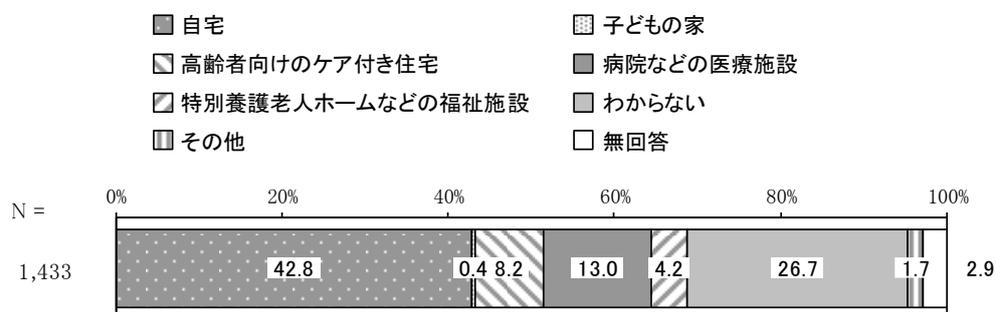
問9 あなたは、認知症についてどのようなことに関心がありますか。(〇は3つまで)

「認知症の予防について」が50.2%と最も多く、次いで「認知症の早期発見」が41.4%、「認知症になった場合の相談窓口」が38.2%となっています。



問 10 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

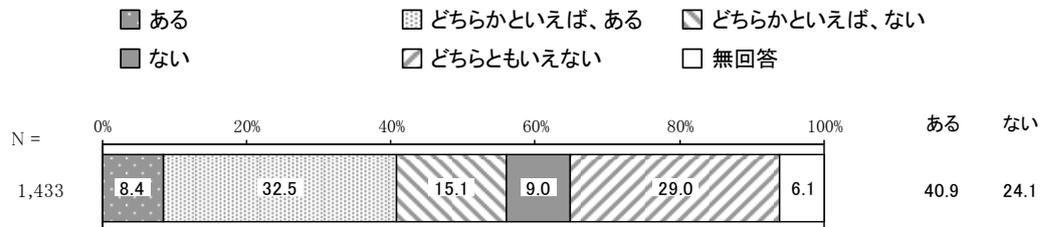
「自宅」が42.8%と最も多く、次いで「わからない」が26.7%、「病院などの医療施設」が13.0%となっています。



子育て支援について

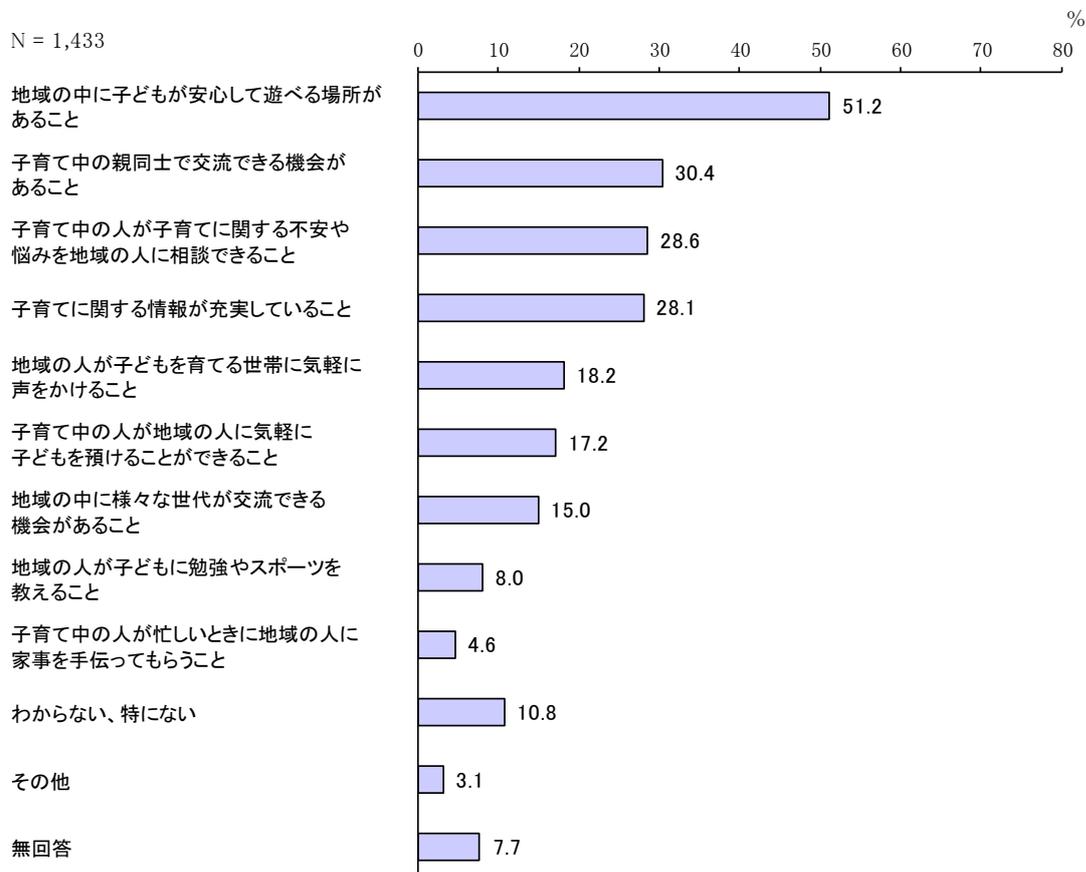
問 11 あなたは、神奈川区に子育てしやすいイメージはありますか。(〇は1つ)

「ある (8.4%)」と「どちらかといえば、ある (32.5%)」を合わせた“ある”が40.9%、「どちらかといえば、ない (15.1%)」と「ない (9.0%)」を合わせた“ない”が24.1%、「どちらともいえない」が29.0%となっています。



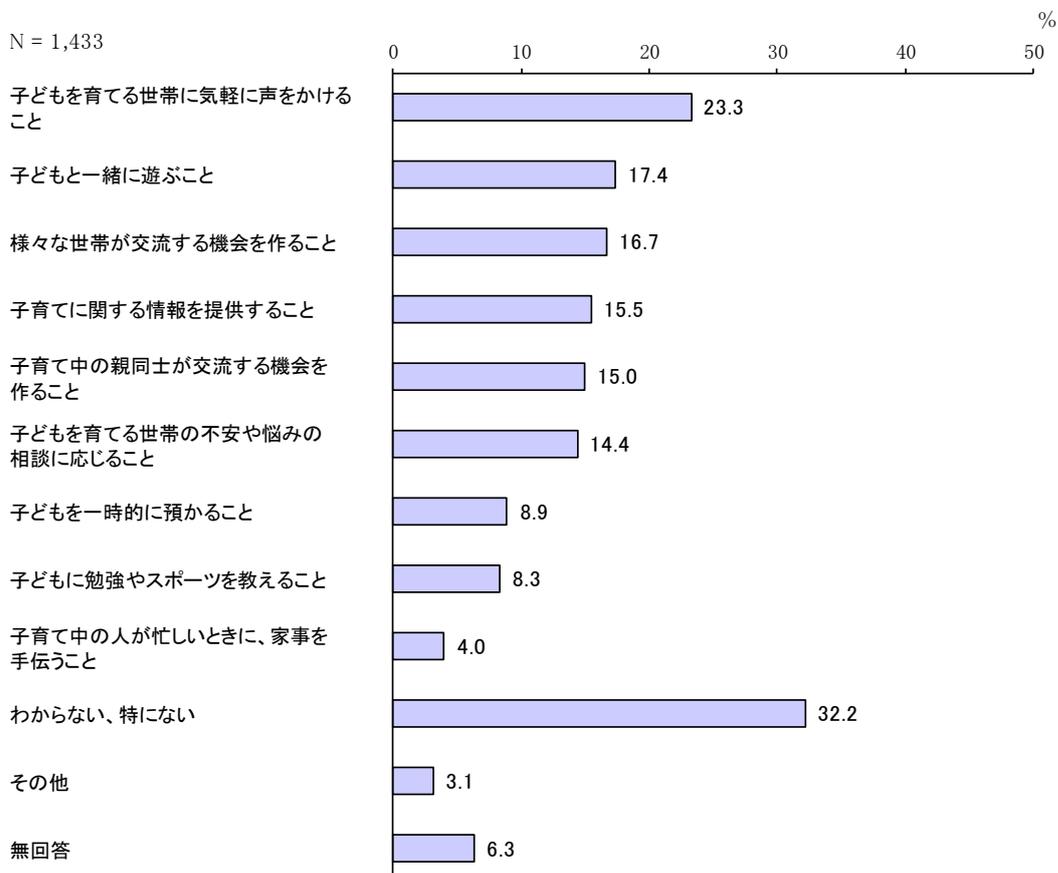
問 12 あなたは、地域で子どもを育てる世帯を支えるためには、どのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

「地域の中に子どもが安心して遊べる場所があること」が51.2%と最も多く、次いで「子育て中の親同士で交流できる機会があること」が30.4%、「子育て中の人の子育てに関する不安や悩みを地域の人に相談できること」が28.6%となっています。



問13 あなたは、地域で子育てを支えるためにどのようなことがしたいですか、またはしていますか。(〇は3つまで)

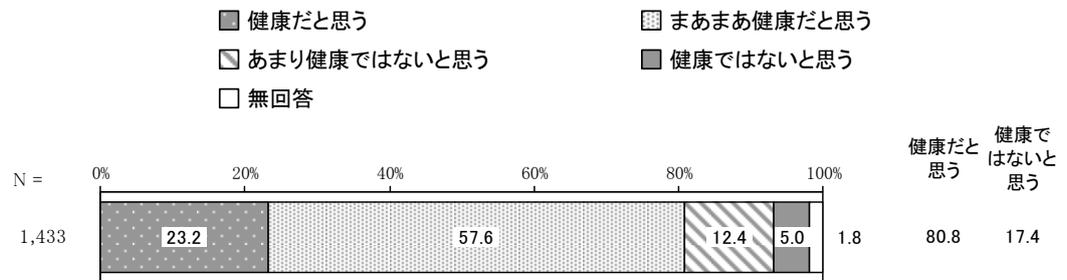
「わからない、特にない」が32.2%と最も多く、次いで「子どもを育てる世帯に気軽に声をかけること」が23.3%、「子どもと一緒に遊ぶこと」が17.4%となっています。



健康づくりについて

問 14 あなたは、健康だと思いますか。(〇は1つ)

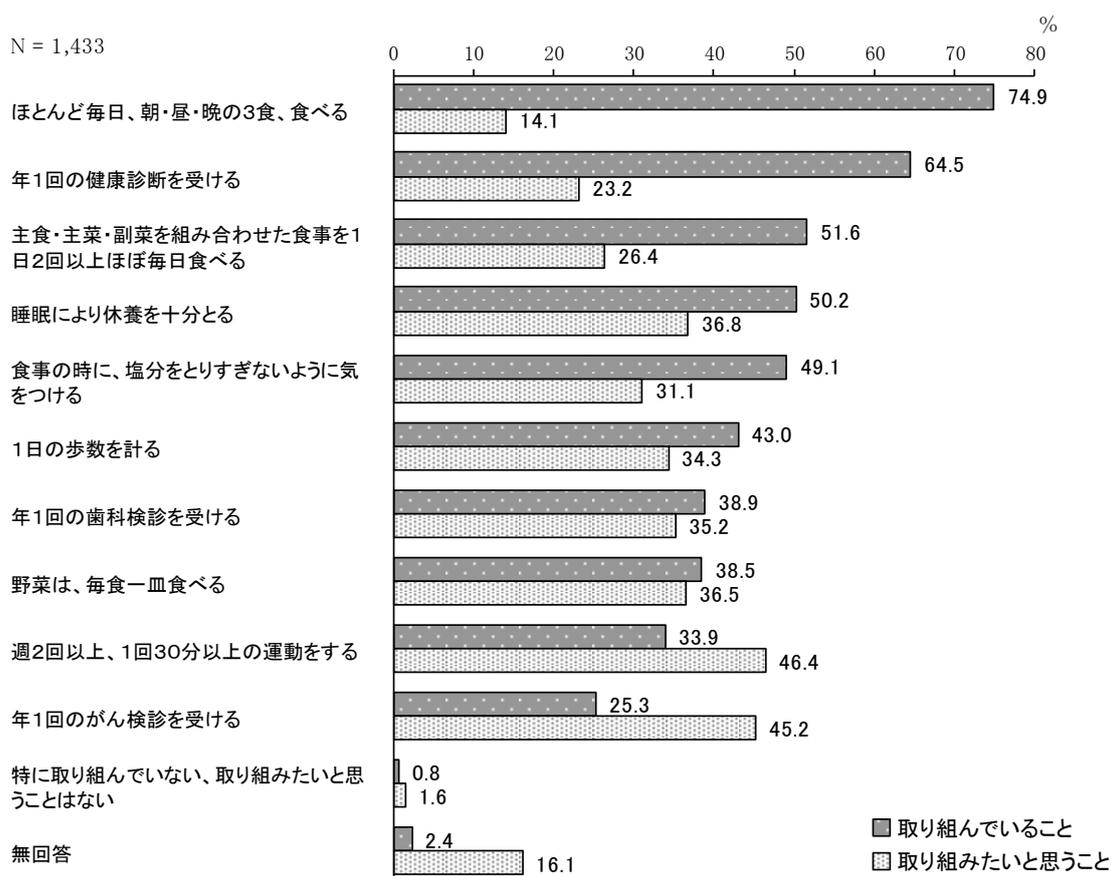
「健康だと思う (23.2%)」と「まあまあ健康だと思う (57.6%)」を合わせた“健康だと思う”が80.8%、「あまり健康ではないと思う (12.4%)」と「健康ではないと思う (5.0%)」を合わせた“健康ではないと思う”が17.4%となっています。



問 15 日ごろから健康のために、あなたは、(ア) 取り組んでいること、(イ) 取り組みたいと思うことはありますか。

((ア)、(イ) それぞれあてはまるものすべてに○)

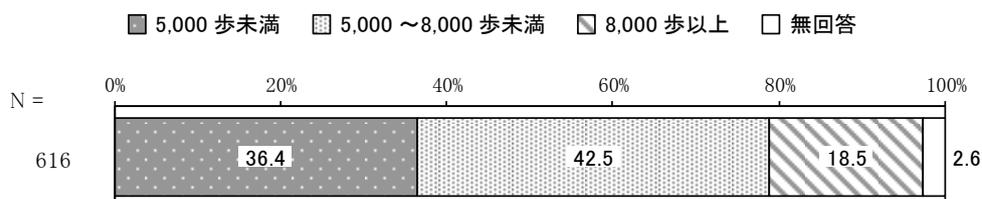
(ア) 取り組んでいることでは、「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べる」が74.9%で最も多く、次いで「年1回の健康診断を受ける」が64.5%となっています。一方、(イ) 取り組みたいと思うことでは、「週2回以上、1回30分以上の運動をする」が46.4%で最も多く、次いで「年1回のがん検診を受ける」が45.2%となっています。



問 15 「(ア) 取り組んでいること」で「(10) 1日の歩数を計る」と答えた方におたずねします。

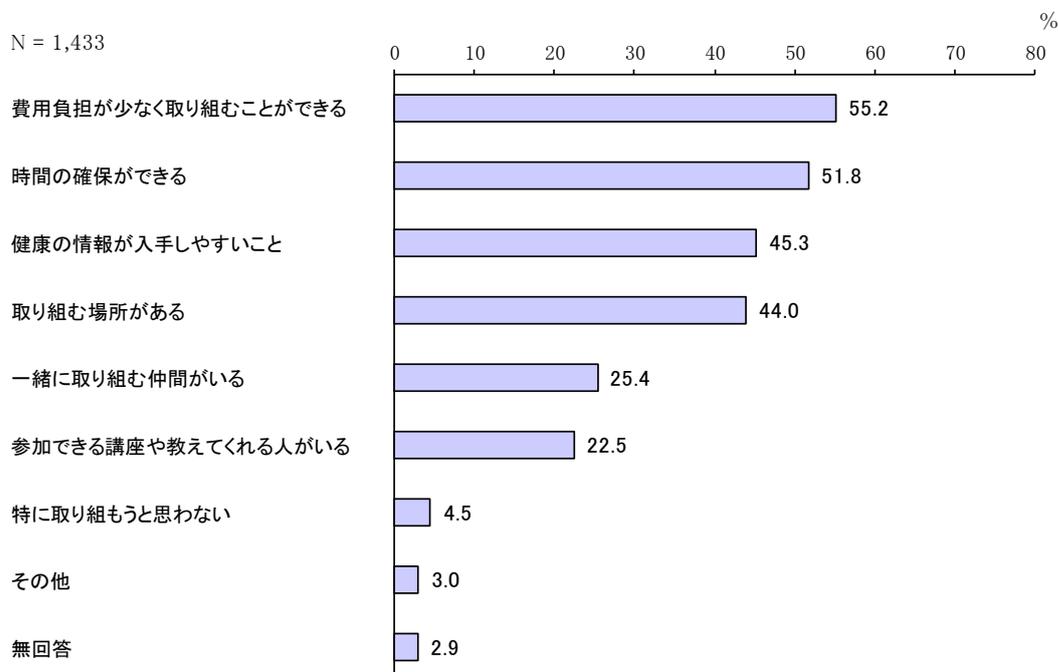
問 15-1 1日どれくらい歩いていますか。(○は1つ)

「5,000～8,000歩未満」が42.5%と最も多く、次いで「5,000歩未満」が36.4%、「8,000歩以上」が18.5%となっています。



問 16 あなたが健康のための取組をするには、どのようなことがあればできるようになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

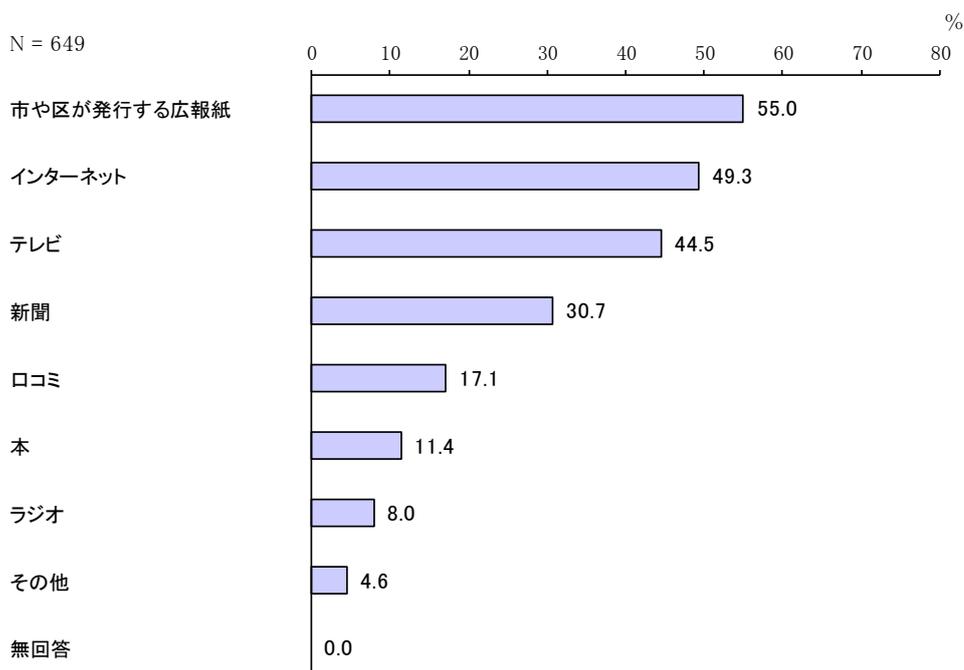
「費用負担が少なく取り組むことができる」が 55.2%と最も多く、次いで「時間の確保ができる」が 51.8%、「健康の情報が入手しやすいこと」が 45.3%となっています。



問 16 で「6. 健康の情報が入手しやすいこと」と答えた方におたずねします。

問 16-1 情報を入手したい媒体はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

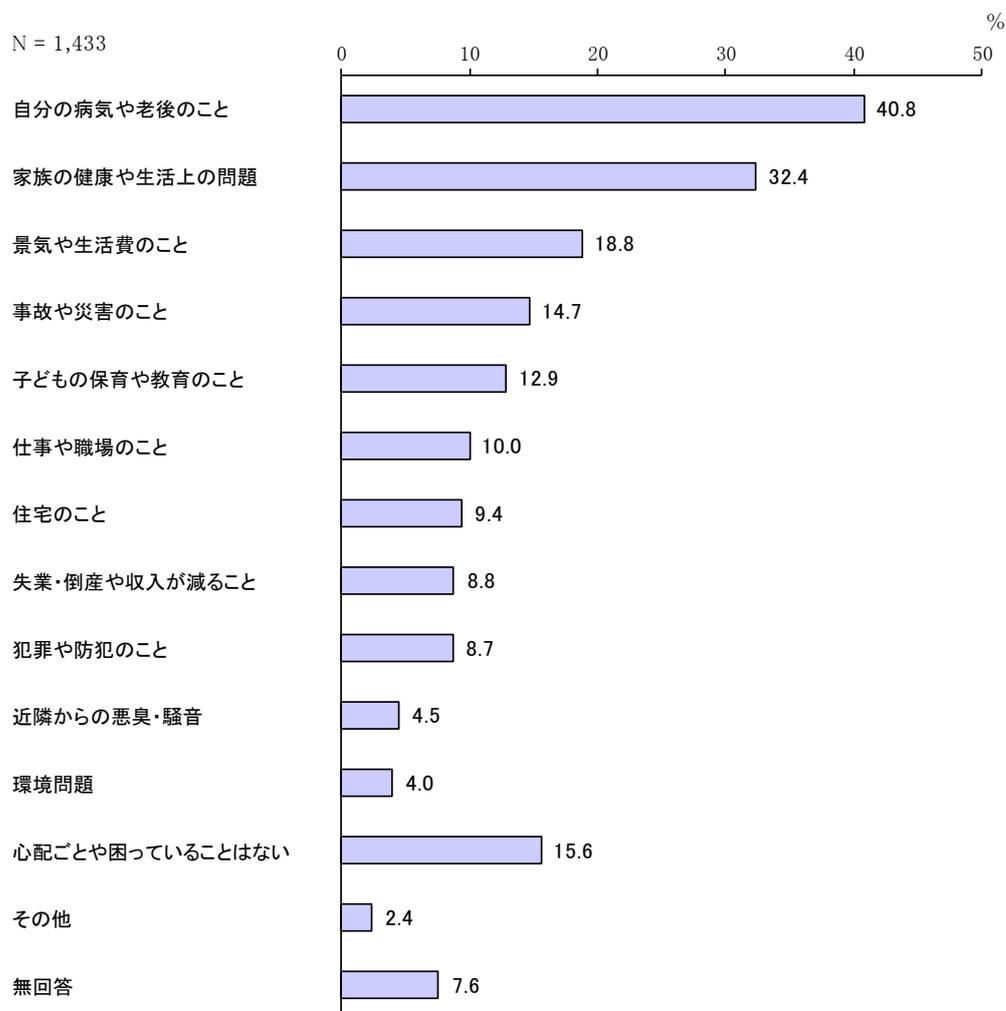
「市や区が発行する広報紙」が 55.0%と最も多く、次いで「インターネット」が 49.3%、「テレビ」が 44.5%となっています。



地域との関わりについて

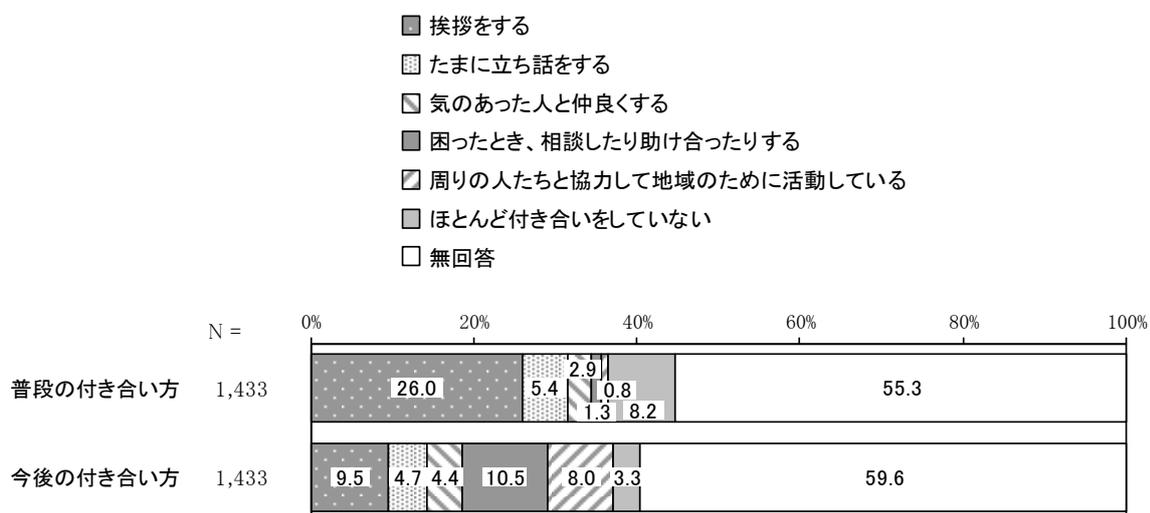
問 17 あなたは、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

「自分の病気や老後のこと」が 40.8%と最も多く、次いで「家族の健康や生活上の問題」が 32.4%、「景気や生活費のこと」が 18.8%となっています。



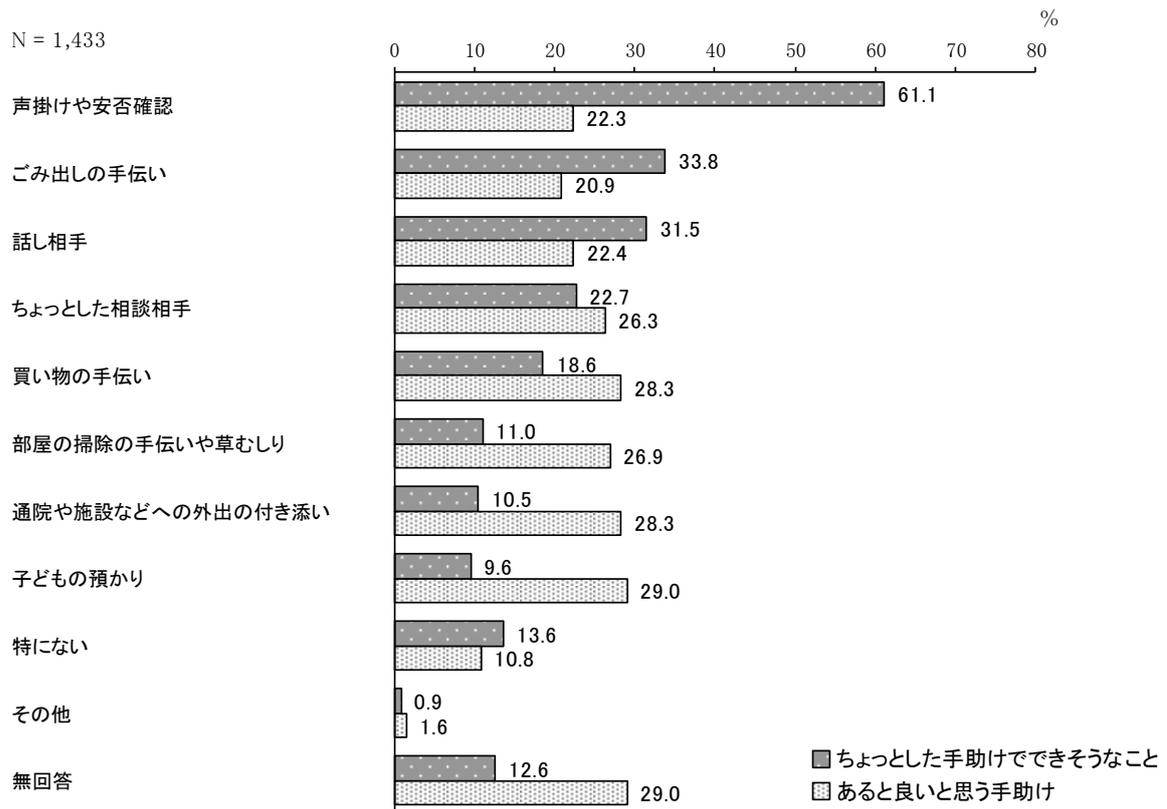
問 18 あなたの近所との付き合い方についておたずねします。あなたは、(ア) 普段どのような付き合い方をしていますか、(イ) 今後の付き合い方をどのようにしたいと思いますか。((ア)、(イ) それぞれ○は1つ)

(ア) 近所との普段の付き合い方では、「挨拶をする」が26.0%で最も多くなっています。一方、(イ) 近所との今後の付き合い方では、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」が10.5%、「挨拶をする」が9.5%となっています。



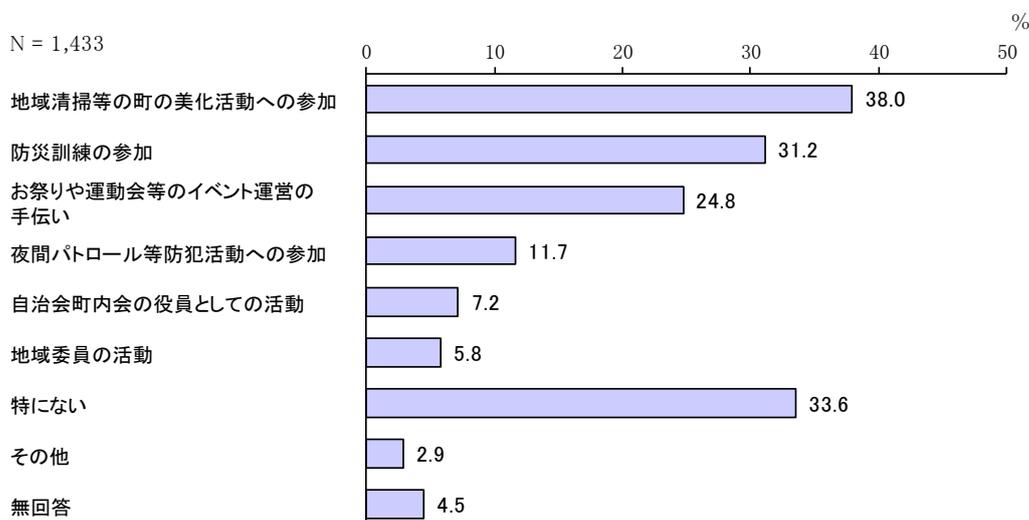
問 19 近所の助け合いについておたずねします。近所で、(ア) あなたがちょっとした手助けとしてできそうなことはありますか、(イ) あなたが生活している中であると良いと思う手助けはありますか。
 ((ア)、(イ) それぞれあてはまるものすべてに○)

(ア) 手助けとしてできそうなことでは、「声掛けや安否確認」が 61.1%と最も多く、次いで「ごみ出しの手伝い」が 33.8%となっています。一方、(イ) あると良いと思う手助けでは、「子どもの預かり」が 29.0%、「買い物の手伝い」と「通院や施設などへの外出の付き添い」が 28.3%となっています。



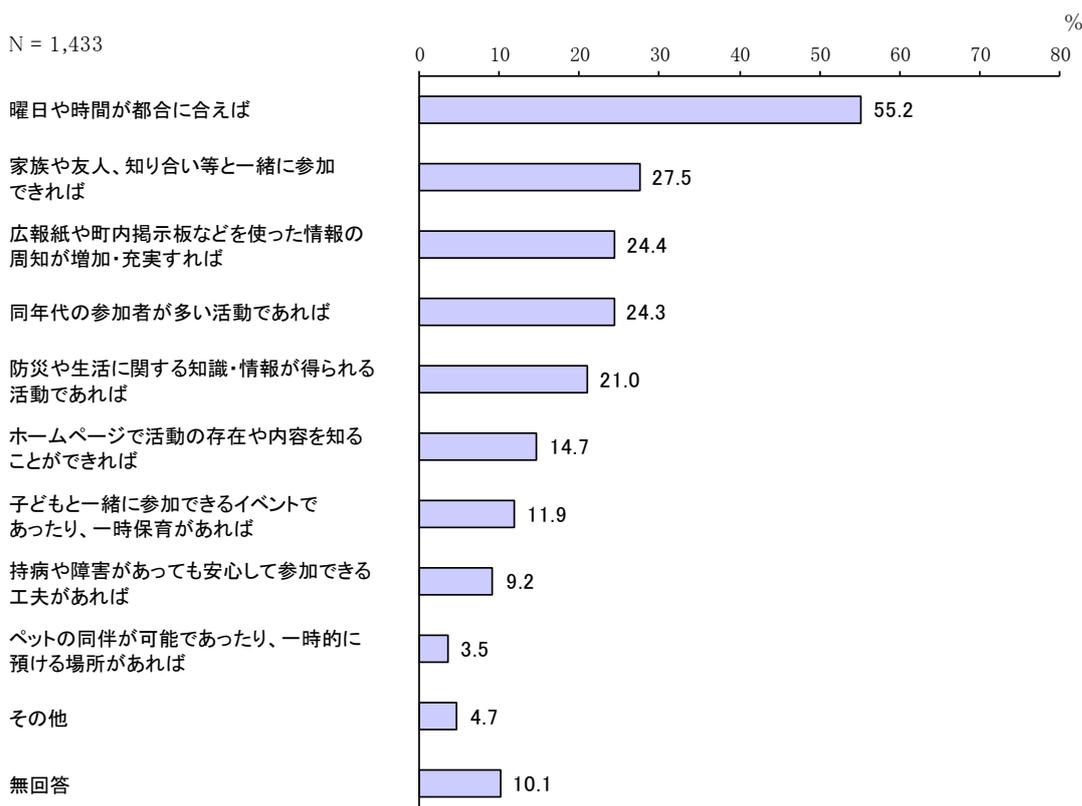
問20 あなたは、地域のためにどのようなことであれば関われると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「地域清掃等の町の美化活動への参加」が38.0%と最も多く、「防災訓練の参加」が31.2%となっています。一方、「特にない」が33.6%となっています。



問21 地域の活動について、あなたはどんな工夫があれば活動に参加できるようになる、または今まで以上に参加しやすくなると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

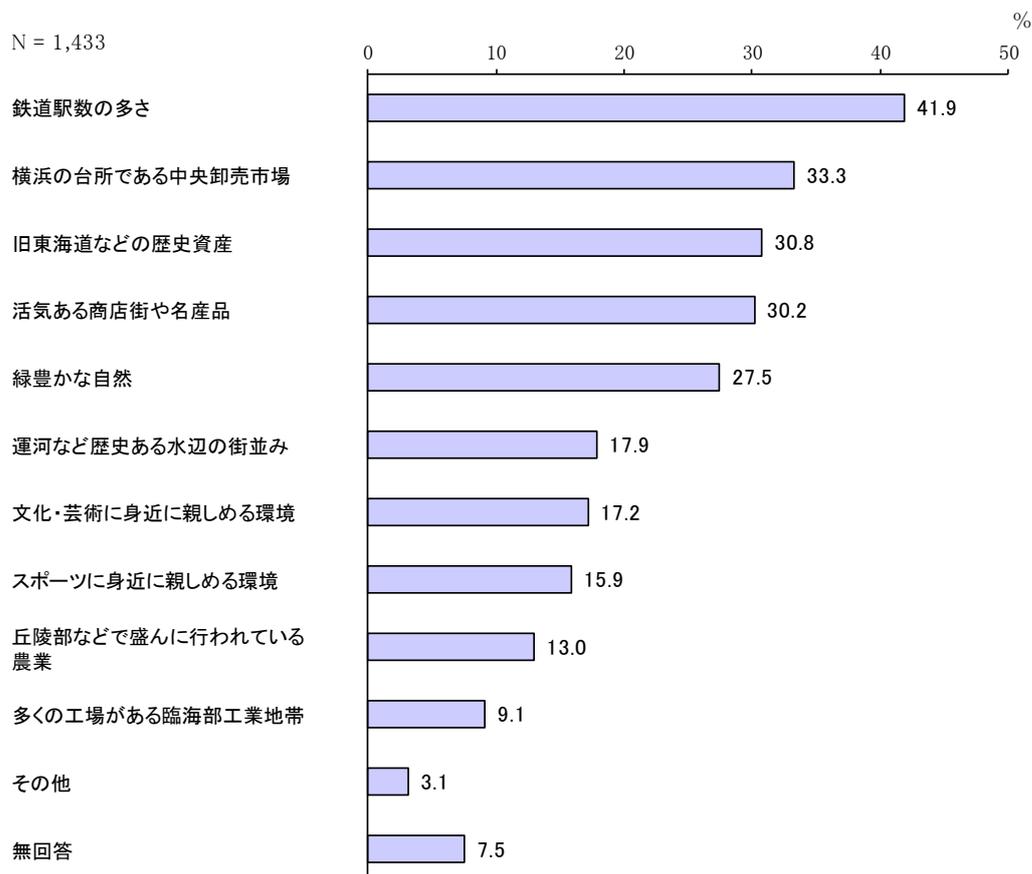
「曜日や時間が都合に合えば」が55.2%と最も多く、次いで「家族や友人、知り合い等と一緒に参加できれば」が27.5%、「広報紙や町内掲示板などを使った情報の周知が増加・充実すれば」が24.4%となっています。



神奈川区の魅力について

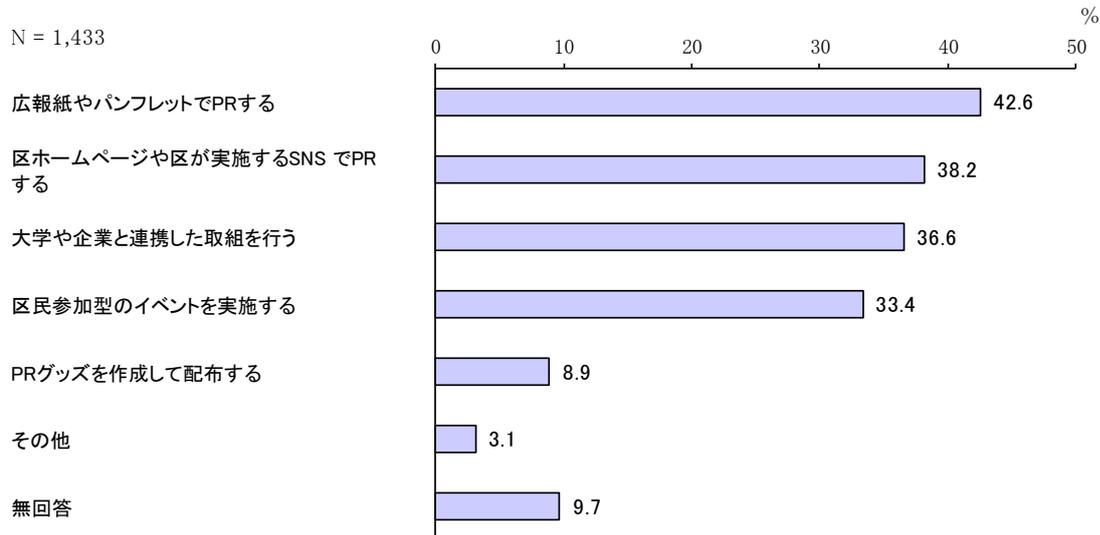
問 22 魅力にあふれた活力あるまちづくりのために、あなたは今後、神奈川区の良さや特徴についてどのような所を積極的にPRしていくと良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「鉄道駅数の多さ」が41.9%と最も多く、次いで「横浜の台所である中央卸売市場」が33.3%、「旧東海道などの歴史資産」が30.8%となっています。



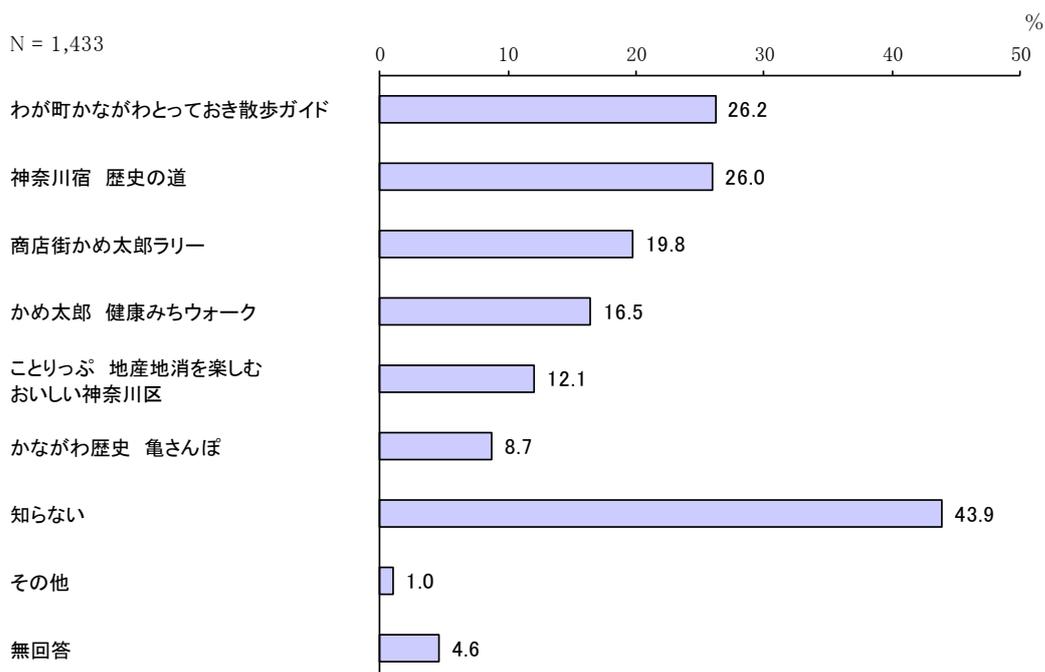
問 23 あなたは、地域の住民に対し、神奈川区の魅力を発信・アピールするための取組として、どのような取組が望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

「広報紙やパンフレットでPRする」が42.6%と最も多く、次いで「区ホームページや区が実施するSNSでPRする」が38.2%、「大学や企業と連携した取組を行う」が36.6%となっています。



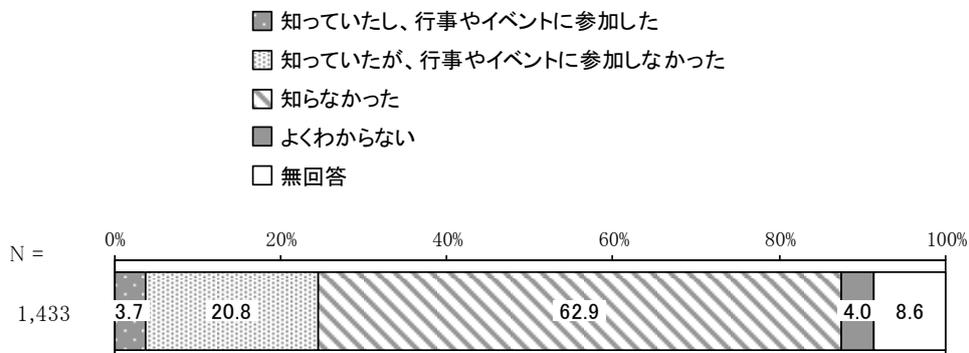
問 24 あなたが、神奈川区の魅力について、紹介している取組として、次のうちご存知なものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

「わが町かながわとっておき散歩ガイド」が26.2%と最も多く、次いで「神奈川宿 歴史の道」が26.0%となっています。一方、「知らない」が43.9%となっています。



問 25 あなたは、昨年神奈川区が区制 90 周年を迎えたことをご存知でしたか。また、区制 90 周年に関係したイベントに参加されましたか。(〇は 1 つ)

「知らなかった」が 62.9%と最も多く、次いで「知っていたが、行事やイベントに参加しなかった」が 20.8%となっています。



平成 30 年度 神奈川県区民意識調査 調査結果報告書 概要版 平成 31 年 2 月

横浜市神奈川区役所 区政推進課

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町 3 - 8 TEL 045-411-7027 (直通)

FAX 045-314-8890

神奈川区ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/>